夕刊
新京日日新聞
發行所 新京日日新聞社



# 日佛共同對滿 投資調査會創立總會
## 佛國の投資力は百億金フラン

（東京廿九日發國通）滿洲國に對する佛國からの投資は既に久しきに亘つて折衝が行はれたが、佛國海外發展協會代表調査員ドリビエー氏の來朝により愈々具體化し日佛共同對滿投資調査會が設立の運びに到り同會は廿九日正午東京會館に創立總會を開き大要左の如き設立趣旨書を發表したがおの結果ドリビエー氏は近く渡滿、投資の目的を以て有望事業を調査することゝなつた而して佛國より投資し得る金額は百億金フランで（約二十億圓）純然たる民間の投資によるものである

### 設立趣意書

滿蒙に對する佛國の投資は日滿兩國とも歡迎すべき理由無きに非ず、佛國としては、對聯盟關係に於てこそ政府が進んで滿洲國の適法なる存在を認め得ざる立場に在るも民間としては其の偉大なる投資力と工業力とを帝國と共同の立場に於て滿蒙方面に活用するには何等之を妨ぐるものなきのみならず却つて頗る有利なる事業なるべきこと疑の餘地なし、況や日佛兩國の利害は極東に於て毫も抵觸する所なし今回佛國海外發展協會の代表調査委員ドリビエー氏の來朝を機として茲に本會を組織せり、佛國海外發展協會は佛國の財團及工業團を主體とし政府支援の下に組織せられる最も有力なる事業指導團体なり若し幸にして本會の目的を達する事を得ば啻に滿洲に對する外資の輸入を容易にし得るのみならず、今や世界の重大時局に當面し此の難局を打開せんがため本事業の如きは極めて有意義なる企てにして日佛兩國親交の具體的基調をなすものなる事信じて疑はざる所なり

日佛、對滿投資調査會設立者藤村義郎男、日本興業銀行理事河上弘一、MTM株式會社長小林順吉郎、貴族院議員曾我祐邦、衆議院議員蘆田均、MTM株式會社理事佛人シユブリエフ

# 奉天第四回見本市
## 第一日約定成績良好

（奉天廿九日發國通）奉天に於ける第四回見本市は既報の如く二十八日午前九時より春日小學校に於て開催されたが朝來押すな押すなの盛況で第一日の入場者は約廿千と稱さるが、取引約定高を見るに見本市側の約定高十萬圓との豫想を一蹴して實に四十萬圓近くの好成績を示して居る、其約定高件數並に金額左の如し

第一部（家庭用品） 三〇八件 一九七、四四三圓七五
第二部（服裝雜貨） 四一八件 一〇一、一〇二圓九〇
第三部（食糧品） 四二件 九八、九三〇圓一七

# 明年度陸軍豫算
## 大体決定す

（東京廿九日發國通）明年度陸軍豫算は大体纏りがつき午前九時より陸相官邸で荒木陸相、柳川次官等參集再檢討をなした豫算總額は嚴秘に付されて居るが、主なものは大略左の如くである

一、滿洲事件費 一億五千萬圓
一、資材整備費 一億三千萬圓
一、論功行賞費 三千萬圓

等である

# 山海關に活動する滿洲國施療班
## 地方民感謝の的となる

民政部山海關辯事處檢疫所に於て附近在住内外人の便宜を爲施療をなしつつある滿洲山海關施療班は非常な好成績を擧げ只地方民の感謝の的となつてゐるが二月二十日より三月二十一日まで一ヶ月間に同施療所が扱つた患者に就いて見るに舊患者千百九十四名で新患者六百名、合計千六百九十四名に達してゐるが、その後漸く黑疫の流行季に入り非常に多數の新患者が詰めかけて居るから現在の患者數は極めて莫大な數に上る事であらう、尚ほ前記期間に於ける患者に就き科別的に見れば内科五二四名、外科三八一名、眼科一七〇名、耳鼻科一〇一名皮膚科三〇六名、花柳病科二七九名、泌尿科五名、婦人科一六名、齒科一三名である

# 税關吏試驗
## 合格者氏名發表さる

滿洲國税關吏採用試驗は受驗者日本人千三百四十七名、滿人五百八十四名、計一千九百卅一名に上り、財政部に於て學科試驗合格者三百十二名より銓衡の上、廿九日左記百卅名の採用者を決定した

△新京 日人專門以上十一名

| 氏名 | 配屬税關 |
|---|---|
| 奥田 明 | 安東 |
| 日高 信彦 | 大連 |
| 宇田川 芳郎 | 右同 |
| 樋口 澄太郎 | 右同 |
| 池田 香珠夫 | 右同 |
| 宮原 庭雄 | 右同 |
| 清部 孝 | 營口 |
| 京木 正幹 | 右同 |
| 村上 議男 | 營口 |
| 田中 政治 | 專賣公署 |
| 大隅 正明 | 圖們 |

△新京 日人中等程度十三名

津留正行 安東／田ノ上俊一 右同／松本七郎 右同／朱乗 右同／不破金夫 右同／吉原俊道 右同／井川忠 大連／町田寛徳 右同／木ト常雄 濱江／松垣新 右同／水澤寛一 營口／村野利雄 税務監督署／崎田英男 專賣公署

△新京 滿人專門以上十名

王經疇 大連／白天民 大連／湯東屏 營口／曹國芬 大連／張文衡 濱江／張大庸 右同／李廉生 大連／蔣哲生 營口／郎樂山 大連／孫景韓 圖們

△新京 滿人中等程度十一名

張貴麟 安東／康相堯 大連／馬式璋 右同／王成部 營口／王恩榮 濱江／郭傳笥 大連／魏春生 右同／徐理貫 右同／魏政謙 右同／曹德新 右同／張金明 右同

△大連 日人專門以上十三名

玉井楠夫 土屋民夫 神下勝 井上孟 滿本安偉 幾野俊一 榎本清 菅原實哲 依田喜四雄 村岡英一 竹内末治 稻葉喜一郎 山高良雄 宮崎幸夫 宮本登 山崎辰之助 吉野一夫 岡藤梧良 阪口正廣 石井好夫 馬場園榮 刈谷一郎 臼井茂雄 渡邊恒 齋藤勳 野見山厚 池田一郎 高松能喜 白尾弘 濱部久雄 内山愼一郎 多田一男 坂本輝雄 大竹岩雄 末藤一百 平田正輔

△大連 滿人專門以上一名

力廣昌

△大連 滿人中等程度十四名

羅仙樵 孫通善 郎耀昌 任洪顯 王振[illegible] 曹恩孚 馬殿甲 劉永福 劉信一 哈增悅 劉茂順 于彦奎 王華普 孫德信

△安東 日人專門以上四名

大澤仙也 鄭寛樊 吉武伊一 淺見武

△同 中等程度十六名

小里純逸 古賀久典 兒玉末德 田邊博之 木村又一 宮島定治 寺田清治 嚴承煥 山根節 岡井純太郎 上田安一 永松正則 深澤忠勇 伊藤正勳 藤村秋藏 柴田忠佐

△安東 滿人專門以上一名

宿工

△同 中等程度十三名

崔葆光 [illegible]裕椿 程秉坤 孫崇文 劉春臺 金曉大 伊才廣 陳延緒 麻藍臼 曹會洲 姜純仁 陳鴻儒

# 新京財界概況（四）
## 商工會議所調査（昭和八年六月中）

### 一 金融市況

特産資金は回收せられ例年ならば夏枯期の最も閑散なる時期にも拘はらず本年は建築材料を初め輸入資金の需要にて各銀行共小口ながら頗る多忙を極めたり、組合銀行の月末帳尻は金勘定にて預金は三四九二二、〇〇〇圓にて前月より五〇〇、〇〇〇圓の減、貸金は七、三四八、〇〇〇圓にて一四〇、〇〇〇圓の增銀勘定にては預金は五九七、〇〇〇圓にして二、二二八、〇〇〇圓の減、貸金は三七九、〇〇〇にして五五、〇〇〇圓の減少を示して居る

新京組合銀行諸預金貸出表

諸預金の部

| 種別 | | 八年五月 | 八年六月 |
|---|---|---|---|
| 定期預金 | 金勘定 | [illegible] | [illegible] |
| | 銀勘定 | [illegible] | [illegible] |
| 當座預金 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 特別當座預金 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 通知預金 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 其他預金 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 公金預金 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 預金證書 | 同 | 一三〇、〇〇 | [illegible] |
| 計 | | [illegible] | [illegible] |

諸貸金の部

| 種別 | | 八年五月 | 八年六月 |
|---|---|---|---|
| 貸付金 | 金勘定 | [illegible] | [illegible] |
| | 銀勘定 | [illegible] | [illegible] |
| 當座貸 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 割引手形 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 荷爲替貸 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 手形貸 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 計 | | [illegible] | [illegible] |

錢鈔、特産、現物平均相場表（昭和八年六月中）

| 別 高低 | 金票對鈔票 | 鈔票對現大洋 | 金票對國幣 | 金票對現大洋 | 大豆 | 高粱 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 最高 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 最低 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 平均 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

# 北海道の豪雨

（札幌卅日）北海道總督電に依れば雨龍郡は二十五日朝來の豪雨にて各河川氾濫家屋浸水百五十餘戸流失數戸、橋梁流失十七で交通杜絶した

# 珠玉を碎く（七十二）

讀賣新上映上演

吉井勇 作（高根秀浩畫）

## 指環（八）

「え、女優……」

京子は突然思ひもかけないことを訊かれたので、一寸お澄の顔を見返るやうにして訊き返した。

「え、女優になるのには、素人からぢやあ中々むづかしいものなのでせうか」

と、京子は始めてお澄の言つてゐる言葉の意味が解つたやうに、

「さうねエ、まあむづかしいでせうねエ。それに女優なんて傍で見てゐるほどいゝものぢやないわ。劇場の内部に入つてみると、そりやあ苦しいことばかり多くつて、あたしなんか今になつてつくづく女優になつたのを後悔してゐる位だわ」

さう言つてから京子は、ちよつと探るやうな目付をして、

「何なの、あなた女優になりたくなつたの」

「え……」

お澄の返事は聞きとれないほど微だつた。

「誰かに勸められたんでせう」

「え、世話をしてやるつて言はれたんですけれど……」

「誰……、誰がさう言つたの」

お澄は少し言ひ淀みながら、

「あのう……この間大貫さんがさう言つて下すつたんですの」

「え、大貫が……」

京子はぎくりとしたやうに目を瞠つた。大貫の蛇のやうな手が、もうこの女の傍にまで延ばされてゐるといふことは彼の女を驚かせるよりもむしろ呆れさせた。

「まあ、あの人そんなこと言つたの、仕様のない人だわね。それぢやあなたは大貫から何か言はれて、それで女優になりたくなつたつて譯なのね」

「え、まあ、さうなんですけれど……」

お澄は言葉を曖昧に濁らしてから、

「しかしあたし何だかもう女給なんてしてるのが厭になつてしまつたんですの。だつてあんなところに來る男の人つて、みんな厭な人ばかりなんですもの……」

「そりやあ男なんてみんな厭な奴ばかりよ。いくら大臣だとか何だとか、偉さうな顔をしてゐたつてやつぱりみんなさうなんですもの……」

京子は昨夜露子の前で目を細くしてゐた相良伯の醉ひ顔を思ひ出しながら言つた。

「しかしあたしあんなところの女給をしてゐるよりは、女優になつた方がいゝと思ひますわ」

「何うして女優の方がいゝの」

「だつて兎に角自分の藝で身を立てゝ行くことは立派なことだと思ひますわ」

と、京子は自らも耻けるやうな笑ひ聲を立てた。

「はゝゝゝゝ、あなたはあたし達が、みんな自分の藝で身を立ててゐると思つてゐるの。嘘よ。そんなこと大間違ひよ。あたし達には藝も何もありやしないわ。あたし達が日本劇場の何だとかかんだとか言はれてゐるのは、ありやあみんな人氣つてものよ。藝と人氣とはまるで別ものだわ」

「人氣ですつて……」

「え、人氣つてものは恐ろしいものよ。人氣が出さへすりや藝なんかでどんなことを演つてゐたつてみんな上手く見えるものなのよ。それだけあたし達には、人氣つてものが恐ろしいの」

「さうですかねえ……」

お澄には京子のいふ言葉が何うも判然と解らないらしかつた。

二人の言葉が途絶えると、[illegible]やうな蟬の啼き聲が、寂しく何處からか聞えて來た。

# 菱刈新軍司令官の新訓令は發せぬ模樣
## 對滿方針には何等變化なき爲
## 軍最高首腦部協議

(東京廿九日發國通)菱刈大將の關東軍司令官新任に際し武藤軍司令官の際と同樣訓令を與へるか否かにつき陸軍最高首腦部で考究中だが、軍司令官更迭するも對滿方針は何等變化無い故訓令は發せぬ模樣である

# 日本政府はあく迄ソ滿直接交渉を希望
## カ氏東郷歐米局長を訪問

(東京廿九日發國通)カズロフスキー氏は午前十一時半外務省に東郷歐米局長を訪問し北鐵交渉は廿六日延期されて以來大橋滿洲國外交次長と私的交渉をなしつゝあるが、所有權問題讓渡價値で意見一致せずソヴイエート政府は妥協的なるも滿洲國側は强硬なるため交渉打切を考慮せざるを得ぬ、日本政府は適宜斡旋されたいと泣を入れた、東郷局長は數回の會商で絶望と見るは早計でないか、日本はあく迄ソ滿直接交渉による妥協を希望する未だ積極的斡旋の時期でないと回答し午後一時會見を終つた

# ソ聯ウスリー鐵道貨車從業員
## 國境侵入で滿洲國に抑留

(ハルビン廿九日發國通)廿六日ボグラに於ける滿洲國警備兵のウスリー鐵道修繕列車抑留事件は廿九日を以て解禁された

即ち事件は廿六日午後二時ウスリー鐵道從業員廿名が修繕列車に搭乘無警告にて國境を越え第三トンネル附近を修繕せんとしたるを折柄巡邏中の滿洲國警備兵のため發見直ちに拘引、貨車を抑留しボグラ路警處に引渡し同處で取調べを續行中のものである、右事實に對し當地スラヴヤンキーソ聯領事は貨車抑留は不法なり直ちに釋放せよと外交部特派員公署に抗議せるが同署では

ウ鐵從業員の入境は

一、稅關檢査を經ざる事

一、ボグラ驛に入るに當り技術的に無警告なりし

等の理由により抑留されるも已むを得ざるべしと回答したるに對しスラヴヤンキー氏は再度來つて修繕車の無斷出入は從來慣習的に認められたりと應じたので、廿九日外交特派員はソ聯領事を訪ひ慣習の有無に拘らず正當の手續き無くして國境を出入するは國際的通念よりするも明かに一國の主權の侵害なりと應酬しソ聯の抗議を一蹴した

着任近き菱刈大將

□白井象次氏謹寫特に本社へ寄贈せられしもの□

# 五、一五事件陸軍側公判(四)
## 公訴事實匂坂檢察官陳述

き語りたるより三上卓は「靴の心配なんかどうでも宜い吾々が何の爲に來たのか判つて居るだらう何かいふことがあつたら早く云へ」と叱咤「次で山岸宏は「問答は要らぬ」と「射て射て」と叫びたるが折柄同室に入り來れる黑岩勇は首相の左前方より首相に向け拳銃一發を發射して命中せしめ首相に左下顎骨角の眞上より頭蓋腔内に至る盲管銃創一個を與へ續て三上卓も亦首相の右前方より首相に向け拳銃一發發射して命中せしめ首相に右頸帶部耳殼前方より右眼外けんの上方に至る貫通銃創一個を與へたる上一同右射彈の命中せるを知り山岸宏の「引上げろ」の聲に應じ前記日本間正玄關より屋外に出でたるが偶巡査平山八十松が木劍を提げ一同に迫り來れるより黑岩勇及村山格之は相次で同人に向け各拳銃一發を發射し孰も命中せしめ同人に右大脚貫通銃創一個及左前膊貫通銃創一個を與へ又被告人篠原市之助は同官邸日本間正玄關前に在りて警戒中同所に近寄り來れる氏名不詳の數名に對し威嚇の目的を以て拳銃一發を發射して之を脅迫し茲に同官邸の襲擊を終り同五時四十分頃一同同官邸裏門より邸外に出でたるに同裏門外なる巡查派出所前に於て氏名不詳の巡査一名が一同の進路を遮らんとせるより被告人篠原市之助は同巡査に對し拳銃を擬し「陸軍では今日三個大隊も出て來て居るから貴樣等がいくらばたばたしても駄目だ」と告け同巡査を脅迫したる上同所を引上げたるが內閣總理大臣犬養毅は前記負傷に基く出血に依り惹起せられたる腦壓による心臟及呼吸麻痺の爲同月十六日午前二時三十五分前記官邸に於て死亡し又巡査田中五郎は前記負傷に依りイキ壞疽を來し爲に同月廿六日午前四時五十五分東京市赤坂區傳馬町一丁目二十番地前田外科病院に於て死亡するに至れり斯くて第一段の襲擊を終りたる一組一同は第二段の行動として警視廳の襲擊に移らんが爲直に同市赤坂區溜池晨車輛し出で再び二輛の自動車に分乘し被告人後藤映範、同篠原市之助同石關榮は三上卓、山岸宏と同乘して先發し東京市麴町區外櫻田町警視廳に向ひ同五時五十分頃警視廳前に到着したるも同廳に於ては一同の豫期せる如き幹官隊の非常召集の行はれたる模樣なく爲に之と決戰を交ゆる由なきより一同同廳前を通過し其の儘同廳の襲擊を中止し同日午後六時頃共に東京憲兵隊本部に自首し又被告人八木春雄、同野村三郎は黑岩勇、村山格之と同乘し前車の後を追ひ警視廳に向ひ同五時五十分頃同廳正面玄關前に於て一同下車し共に同廳舍內に侵入し更に二階に上り一室の硝子戶を蹴破る等の暴行を爲したる上同廳を引上げ自動車にて東京憲兵隊本部正門前に到り停車し門內の狀況を窺ひ同志一同未だ來着せざるものと思惟し黑岩勇の發議に依り豫定外の襲擊に關し協議の際偶々警視廳警部補新堀虎吉が被告人等を追跡し來りたるに氣付き黑岩勇は同警部補の乘車せる自動車に向け拳銃一發を發射したるも右自動車に命中せず次で一■更に豫定外の行動として日本銀行を襲擊するに決し自動車を驅り同六時頃東京市日本橋區本兩替町三番地所在日本銀行前に到り一同下車し被告人野村三郎は黑岩勇の指示に依り同行の前庭に進み正玄關に向け手榴彈一個を投擲し玄關前の中庭に於て爆發せしめ其の破片に依り同行正玄關及附近に無數の彈痕を生ぜしめたる上一同同所を引上げ同日午後六時過頃東京憲兵隊本部に自首し」

×

第二、被告人西川武敏、同菅勤、同坂元兼一は二組に屬し同日午後五時頃までに東京市芝區高輪泉岳寺山門側なるカ亭事山口彌太郎方に於て古賀淸志及池松武志と會し同所に於て古賀淸志より行動要領の概要を說示せられ且一同同人より武器の分配を受け因て古賀淸志、池松武志は各拳銃(實彈裝塡)一挺、同實包若干及手榴彈一個を、被告人西川武敏は拳銃(實彈裝塡)一挺同實包若干を、被告人菅勤同坂元兼一は各手榴彈一個及短刀一口を携帶し先づ第一段の行動を開始する爲一同は同日午後五時十分頃同亭を出で自動車に同乘し內大臣牧野伸顯居住の東京市芝區三田臺町一丁目五番地所在內大臣官邸に向ひ同五時二十四分頃同官邸正門前に到り自動車を停め被告人菅勤、同西川武敏同坂元兼一は車內に止まり且被告人西川武敏は拳銃を擬して自動車運轉手木下向忠を威嚇制し被告人菅勤及同坂元兼一は外部の警戒に任じ古賀淸志及池松武志の兩名は下車して同門前より相次で各手榴彈一個を正玄關方面に向け投擲し內一個は不發に了りたるも他の一個は正玄關前庭に於て爆發せしめ其の破片に依り同官邸正玄關及附近の板塀等に無數の彈痕を生ぜしめ次で古賀淸志は同邸立番巡查橋井鎭一に對し拳銃一發を發射して命中せしめ同人に左肩峯島啄突起部に貫通銃創を與へ同五時二十七分頃同官邸の襲擊を終り一同自動車にて同所を引上げ

×

斯くて第一段の襲擊を終りたる二組一同は第二段の行動として警視廳の襲擊に移らんか爲直に自動車を驅り警視廳に向ひ途中車內より豫て海軍側同志の準備せる「日本國民に檄す」と題する陸海軍青年將校及農民同志名義の謄寫版刷り檄文數百枚を路上に撒布し同時四十五分頃警視廳正玄關附近の車道に停車し古賀淸志は車內に止まり他の一同は下車し被告人菅勤及同坂元兼一は古賀淸志の指示に依り相次で路上より同廳舍に向け各手榴彈一個を投擲したるも孰も不發に了り次で古賀淸志は自動車內より同廳正玄關石段に在りたる氏名不詳の正服巡查に向け拳銃一發を發射し又池松武志及被告人西川武敏も路上より同玄關に向け各拳銃一發を發射し右三名の射彈中二發を警視廳書記長坂弘一に命中せしめ同人に下顎部貫通銃創及右膝關部盲管銃創各一個を與へ又其の射彈中一個を讀賣新聞記者高橋銳に命中せしめ同人に右下腿貫通銃創一個を與へたる上一同同所を引上げ同日午後六時頃東京憲兵隊本部に自首し

# 北鐵讓渡後のソ聯の對滿貿易方針

紛糾を重ねてゐる北鐵讓渡交渉が圓滿に成立をみた場合、ソ聯邦の極東政策は一大變更を示すものと觀られ、對滿洲國貿易政策も之に伴つて變革を豫想されて居るが當地に達した情報に依ると、本月上旬奉天に於て全滿各地のソ聯邦國營商事部代表者參集し、ソ聯政府の訓令に基き北鐵讓渡を前提として將來の對滿貿易政策に就て協議を重ねた結果政府の訓令通り左の如く意見の一致を見た趣である

一、北鐵讓渡後に於ける滿洲に於けるソ聯邦商品の販路として、價値が少いから特殊商品(石油、木材、毛皮)の輸出は從前通り繼續するも其他の雜貨類等の販賣は積極的に開拓せず

二、その代り支那本部、蒙古方面に力を注ぎ新販路の擴張を圖る

三、今迄滿洲各地に根を張つてゐた商品販路を最少限度に縮少し、國營商事部はハルビン奉天、營口の三個所を殘し、他は全部閉鎖する

即ち之に依つて觀るもソ聯は北鐵讓渡交渉圓滿成立後に於ける滿洲國に對しては經濟的に乘出す意志は全然なく滿洲を捨てゝ地理的にも日、英、米の資本と對抗し得る蒙古並びに著しく親露態度を示しつゝある支那方面に進出するものゝ如くソ聯邦極東政策の一つの表れとして大いに注目されてゐる

# ケープタウンで排日貨運動起る
## 茂垣代理領事より公電

(東京廿九日發國通)茂垣ケープタウン領事代理發の電報に依れば、英領ケープタウン商業會議所と南アフリカ聯邦政府に日本品排斥を陳情し排日貨運動に着手することになつた、ケープタウン商業會議所會頭は、記者團に對し左の如く發表した

日本品の脅威を除くは、地方的協力の範圍を脫し國際問題化した、イギリス始め歐洲諸國の指導に依る外はない

# 第六次交渉
## 八月二日より開催に內定

(東京廿九日發國通)ユレネフ大使、クズネツオフ氏の病氣は、此程漸く恢復し東郷局長、カズロフスキー氏の會見の結果、第六次交渉は八月二日午後二時より開催することに內定した

# 瀋海沿線
## 播種成績良好

(奉天廿九日發國通)瀋海沿線各縣に於ける本年度農作物播種面積は全縣面積の約四十五パーセントで昨年度の三十パーセントに比し十五パーセントの增加である、而して之が收穫豫想は昨年度の實收九萬二千噸を遙に凌駕し十三萬八千噸と稱されて居る、右は本年に入り各地の匪賊も日滿軍に掃蕩せられ地方治安恢復せるためと本春滿洲國政府より春耕資金十萬圓借入を受けたためである

# 西、ソ兩國間
## 大使交換條約締結

(モスクワ二十八日發國通)スペイン政府は蘇聯政府承認を公式に發表すると共にスペイン外相はリトヴィノフ氏に右の趣きを通告したが蘇政府はスペイン政府に對し蘇政府は事實上法律上共にスペインの現共和政府を以てスペインに於ける唯一の合法的主權政府と認め蘇政府は直ちに兩國間に大使を交換し通商條約締結の交換を開始せんとする用意を有すると回答通牒を送つた

# シムラ會商に對する英政府の態度は不誠意

(東京廿九日發國通)シムラ會商に對する英政府の態度は不誠意で開催されても事實問題は兩國民間代表間の協議となるかも知れぬ狀態で現在決定の民間代表は舊幹部級技術者中心となつて居り、重大問題討議の場合は一々本國へ請訓せねばならぬ故、此際我が綿業を代表して適宜折衝し得るものを派遣する必要ありとの意見が紡聯首腦部に擡頭し政府も同意見で近く紡聯で有力代表を銓衡し、出發に先立ち官民合同の對策協議會を行ふ筈である

# 趙立法院長
## 內田外相を訪問

(東京廿九日發國通)憲法制度調査のため上京の趙欣伯博士は午前十時外務省に外相を訪問、來京の挨拶をした、氏の滯在は一ケ年の豫定で、專心調査に沒頭する故外務省では參與委員に前長春領事田代重德氏を任命した

# パラセル島問題
## 海軍側で本格的調査開始

(東京廿九日發國通)平田末次氏が大正六年以來占有せる島はフランスが先占を宣言せるパラセル島ではないらしいが一部が同群島にかゝつてゐるやも知れぬとの懸念から海軍では三十一日より本格的調査を爲す事となつた、若し平田島がパラセル島でないことが判明せば、帝國は直ちに同島に對し先占の宣言をすることゝなつた、尚ラサ島の先占も此の際爲し置く必要ありとなし手續の爲ラサ燐礦社員を招致し調査することゝなつた

# 外務首腦部對支對策を協議
## 桑島アジア局長を中心に

(東京廿九日發國通)アジア局長に新任すべき桑島總領事を中心として午前十時內田外相、重光次官等大臣室で對支對策を協議の結果支那は飽くまで抗日運動を持續するらしい、アジア聯盟の如きも當分望みなく時期の來る迄靜觀の外なしと意見一致した模樣である

# 遺骨着發

步兵第〇〇隊の遺骨三体二十日午後四時新京到着高野山に安置

一日午後三時二十五分着列車でハルビンより第〇〇團遺骨五十五体到着太子堂に安置二日午前九時五十分發列車で內地へ凱旋

# 日布交驩キャンプ
## 三原山麓で

(東京廿九日發國通)來る八月二十五日舉行される海軍大觀艦式及び東京、日光等を見學のためハワイ少年團第二見學團が三百五十名の多數を擁して八月四日橫濱着、來朝することになつたので東京聯合少年團では八月十四日より一週間に亘つて大島三原山麓にキャンピングをやることゝなつた、一千八百五十名の日布健兒がキャンプファイヤを圍んでの交驩は夏の夜に相應しい壯觀を呈する豫定で大きな期待を以つて待たれてゐる

# 本邦綿製品輸出激增に伴ひ
## 紡績機械輸出二百萬圓突破

(東京廿九日發國通)本邦綿製品輸出激增に伴ひ紡績機械の輸出も激增、上半期は二百萬圓を突破し昨年同期に比し五十萬圓の增加で向先は支那印度で英國六大會社を向にして世界市場を征破せんとしてゐる

## 人事往來

▲岡村參謀副長三十日午前八時二十分故武藤元帥の靈柩車に附添南行
▲原田中佐(關東軍參謀)同上
▲萬城目少佐(故武藤元帥副官)同上
▲辰巳少佐(關東軍參謀)同上
▲西大條少佐(關東軍參謀)同上
▲木村大尉同上
▲岸本三等軍醫正同上
▲富岡大佐(關東軍參謀)同上
▲篠原大佐同上
▲片村中佐同上
▲沼田中佐同上
▲秋山中佐同上
▲遠藤少佐同上
▲橋本少佐同上
▲森少佐同上
▲佐野主計總監同上
▲伊藤軍醫總監同上
▲渡邊獸醫正同上
▲大山法務部長同上
▲林滿鐵總裁三十日午後七時三十五分大連へ
▲八田副總裁同上
▲井上少將(教育總監部)同上
▲岩井少將(大連分會長)同上
▲謝外交部總長三十日午前八時二十分大連へ
▲宇佐美滿洲國顧問同上
▲筑紫參議同上
▲山成中銀副總裁同上
▲許大禮官同上
▲高波少將(騎兵第〇〇團長)三十日午前九時奉天へ
▲木下少佐(同參謀)同上
▲森島總領事(ハルビン)三十日午前八時四十分ハルビンへ
▲峰谷總領事(奉天)三十日午前九時奉天へ

### 團体

▲台北高商生十一名三十日午後二時二十五分來京同十時奉天へ
▲東京本鄉教育團十二名三十日午前八時四十分ハルビンへ
▲吉林女子師範生四十七名三十日午後四時三十分吉林へ
▲慶應義塾生十二名三十日吉林往復
▲台北中生六十五名三十日午後十時奉天へ
▲室町小學生六十八名三十日午前六時四十分來京
▲學習院生七名三十日吉林往復

# 軌む柩車に 名殘をとゞめ 元帥の遺骸故國へ

## 紺碧の空にも憂色漂ふ

### 重爆三機と警察機に護られつゝ

吾等に取つては悲しくも、最後の別れの日が來た、けふ畏くも明治大帝の御命日七月三十日、故武藤元帥には過去一ヶ年に亘つて粉骨碎身、日滿兩國家のため吾等民衆のために盡された思出が深き首都新京に永遠に『さらば』を告げることになつたのである、この日晴れ亘る紺碧の空にも憂色濃く漂ひ盛夏とはいへ吹く風も肅々として何とはなく物思ひに沈むかの如くである、やがて故元帥の最後を見送るべく重爆三機、警察機が翼を揃へ首都の上空を除ろに旋回して弔問飛行をなして哀しくも最後の別れを惜しむのであつた

# すめら御國のラツパも悲しく

## 午前八時廿分柩車發引

### 沿道

これより先きわが日滿兩國の大恩人故武藤元帥の凱旋を見送るべく在新京の各機關代表各種團体代表各有力者その他一般奉送の民衆ら軍司令部前平安町、中央通から驛前廣場へかけて

**續々** 押寄せて沿道一帶は忽ち十重二十重に人の垣をめぐらした、何れも故元帥の哀しき出發を悼み襟を正し肅然として聲なく默々として待ち上ぐるのである、驛前向つて左側には日本軍隊を始め日本側各學校生徒兒童、各種團体、向つて右側には一般奉送者、滿洲國側軍隊、同學生、各種團体ら全新京をあげて殘らず實に空前の盛儀のうちにやがて定刻午前七時三十分故元帥の尊き遺骸は幕僚達の手によつて軍司令部に最後の別れを告げ自動車に安置されるとまづ憲警の先驅前驅につゞいて靈柩自動車が進み位牌を捧持した萬城目副官、勳章並に元帥刀を捧持の辰巳少佐、志村大尉、鹽原、鶴見兩秘書官、小磯參謀長、名越副官、橋本警備司令官の各自動車、齋藤大佐、高山警察署長、新京警備隊の儀仗兵がつゞく、かくて軍司令部正門を出で軍職員を

**始め** 沿道諸員の奉送裡に肅々として新京驛に向つた、

### 發引

新京驛正面玄關に著いた靈柩は自動車から警護の兵士達によつて靈柩列車に

**安置** されると陸軍、大使館、關東廳、滿洲國、各種團体その他一般の順序で滿鐵線上りホームに右から左へズラリと整列、日本側では松木中將始め各將星、林警務局長、栗原總領事その他、滿洲國では鄭總理を始め各部總長その他全新京知名の士悉く網羅し、プラツトホームを埋めつくした、靈柩が安置されるや暫く讀經の聲聞え軍將星始めそれぞれ燒香を終つていよいよ午前八時二十分吾等が大恩人の遺骸を載せた靈柩車は新京をあとに出發することゝなつたのである、發車のベルが鳴つた、この時吹奏する「すめらみくに」の喇叭の音もけふはいとも物悲しく奉送者いづれも肅然聲なく、最敬禮の裡に

**靈柩** は關東軍岡村參謀副長、大使館林出書記官、關東廳林警務局長、鹽原秘書官、滿洲國代表謝外交總長、宇佐美顧問その他多數の人々に護られ、列車は辷るやうに靜かに南へ向つた

## 故元帥秘話

### 御通夜の晩公開さる

故武藤元帥の御通夜が官邸で行はれた廿八日夜側近に侍して居た某幕僚は沈默將軍と言はれ逸話の少なかつた故人にも謹嚴な反面に少なからずユーモアがあつたことを公開した、その中の二つ三つを拾つて見やう

▽

熱河省民招撫に向ふ關東軍宣撫班が元帥に挨拶を述べに來た、その際一宣撫員が「熱河には臆病者が多いから眠藥を持つて行き度いと思ふが瓶がこわれるから困つて居ます」と述べると元帥は微笑みながら「宣撫工作には鼻藥が一番良く利くだらう」と答へたので一同眼を白黑させた

▽

或日元帥は萬城目副官に向ひ「お前は貯金をしてゐるか」と聞いた、副官は嚴格な元帥の前だから「有る」と答へたいが嘘も言へず「閣下殘念ながら貯金は御座いません」と答へると元帥は呵々と大笑して「俺も同じだなあ」には萬城目副官も二の句が出なかつたさうだ、世間では元帥の嫌ひなものは政治屋と保險屋だつたとするが眞僞はわからぬが薨去されても保險金が一文も貰へぬことは事實らしい

▽

元帥は貯金こそしなかつたが金錢には實に几帳面であつた殊に公私を混同するやうな事無く、元帥榮進祝賀の宴が張られた際も自分の嚢中をしぼり又寫眞とか記念品等を作つて知人友人に配る時普通の大官なら官費で支出する樣な場合でも元帥は必ず私費で賄つたと言ふが、こんな所にも故人の面目躍如たるものがあつた

## 明治天皇祭御親祭の爲 陛下御還幸

（東京二十九日發國通）三十日の明治天皇祭御親祭のため天皇陛下は午後二時半葉山御出門、午後四時十分東京驛着御還幸あらせられた

## 武藤元帥の葬儀手配本極り

（東京廿九日發國通）逝ける武藤元帥の凱旋と葬儀に關し廿九日午前九時陸軍省に陸海拓務三省各關係官參集、第一回打合せを行つた結果、葬儀は八月六日午後零時卅分青山齋場で陸、海、拓務三省の共同葬として執行、次で二時から三時まで告別式を行つた後音羽護國寺に埋葬（土葬）し午後六時卅分頃一切を終了する事に決定を見た、葬儀委員長には林教育總監、副委員長には柳川陸軍次官、植田參謀次長、香椎教育總監本部長、重光外務次官、河田拓務次官と決定、八月二日遺骸を下關に迎へるため陸相代理松浦人事局長、參謀總長宮代理梅津參謀本部總務部長以下各省から十數名が西下し靈柩に扈從し三日午前八時三十分東京着、ホームより驛前までは陸軍兵卒が柩を擔いで靈柩車に移し直に下落合の屋敷に歸り、午前十時慰靈祭を行ふことゝなつた、尙三十一日更に會合詳細決定する筈

## 江防艦隊六隻 黑龍江に進出

ハルビン江防艦隊司令部の發表によれば、尹江防艦隊司令官は軍艦六隻を率ゐて二十九日正午愈々黑龍江に進出した

## チチハルで故武藤元帥の告別式擧行

（チチハル廿九日發國通）故武藤元帥の告別式は廿九日午後三時より市內龍砂公園の廣場で官民二千名出席の上內田領事、孫其昌省長、飯野參謀長等の弔詞あり未曾有の盛大な式典ながらいともしめやかに執行された尙此日全市は弔旗を掲げて哀悼の意を表した

## 英船船員が 大連に大量の拳銃實彈丸密輸

### 犯人逮捕、船内捜査中

（大連廿九日發國通）去る二十四日入港の英船グレノーグル號（九、五一三噸）の支那船員がローヤル拳銃及び實彈多數を大連市内各街に密賣中を大連署の探知するところとなり署員の大活動により支那遊廓及び船中の犯人十名を逮捕し、船中を捜査の結果ローヤル拳銃二百餘、實彈二萬餘を發見押收したが、船長レメント氏はこれに對し不法抗辯をなしたるも當局に犯人を引渡し二十九日午前十時三十分出港した、其後尙は船中多數銃器あることが犯人の自供により判明したので其筋ではグ號に停船を命じ係員を急行せしめて目下取調べ中である

## 寛城子新京間の日滿人乘車拒絕

### 北鐵の態度尖鋭化す

北滿鐵道讓渡問題に絡んで北鐵從事員の日滿兩國民に對する感情は事毎に尖鋭、激化され、その成行は各方面より頗る憂慮の眼を以て注視されつゝあるが從來北鐵の列車が新京驛發着に伴ふ列車乘換の場合は便宜上新京、寛城子相互間を無賃にて乘車せしめてゐたところ最近に至り、北鐵從事員は日本人及滿洲人に限り該列車への乘車を拒み或は乘車せしめても降車を妨害する等漸次直接行動に迴りつゝある

## 世界最長の水上航空路

### ウラジオ、ペトロ間定期飛行

（敦賀廿九日發國通）二十九日敦賀着ウラジオ來電に依れば、世界最長の水上航空路として列國注視の的たる蘇聯ウラジオストツクペトロパヴロフスク定期航空路設置計畫は愈々八月中旬から實施に決定一般乘客並びに貨物の取扱をなすことになつた、ウラジオペトロ間を僅か二十餘時間で飛ぶ豫定で着水地點は十二個所である

## 靜岡縣小山町の大火

（小山二十九日發國通）二十九日午前零時五十分靜岡縣小山町より出火、强風に煽られ同町目拔通り百餘戸全燒、附近に富士紡績あり大混亂を現出、三時鎭火した損害は約十萬圓放火の疑濃厚で目下調査中である

## 店主の印で預金を引出す

市內東一條通森川洋行店員金某（二一）は廿九日午前十時頃城內料理店へ集金に行くとて外出した儘歸宅せぬので不審を抱いた店主がよく調査して見ると店主の印鑑及領收書を僞造して朝鮮銀行發行の小切手近江銀行受取の額面百二十五圓を受取り同僚内山某のＡローム十型時計時價十圓を借り受けたまゝ逃走してゐる事が判明直に新京署へ屆出た

## 五、一五事件海軍側公判

（東京二十八日發國通）五、一五事件海軍側公判は午前九時開廷、洪法務官訊問し中村中尉陳述す

「三上卓と識つたのは何時か」

「決行前の五月十四日上野驛前だ」

と答へ滿廷意外の感に打たれ

「井上日召との關係如何」

「藤井少佐が長崎に居た故日召が殆んど中心で指導者だつた」

と答へ、十時五十分休憩、十一時再開

水雷學校在學中勳章疑獄、鐵道疑獄等續出し議會政治は國體を汚す幕府政治と異るなしと思ひ打倒を決意した」

と述べ正午再び休憩午後一時半再開

昭和六年末下高井戸の軍部民隊會合の模樣如何

西田稅、座長となり陸軍の橋本中佐が宇垣總督の上京を機會に事を起す模樣があるから對策が必要と語つた旨○新事實を述べ滿廷緊張二時四十分休憩、二時五十五分から續行された

陸軍側に計畫參加を勸誘するも遺憾だと蒼惑の態で賛否を述べず、餘りの軟弱に憤慨したが別室で坂元候補生より「將校は頼むに足らぬが、候補生側は賛成だ」と誓つたと陳述し、塚崎辯護士が申請して二十九日午後二時總理官邸の實地檢證をすることに決定午後三時五十分閉廷、次回は三十一日と決定した

## 五、一五事件陸軍側公判

（東京二九日發國通）五、一五事件陸軍側公判は午前八時より開廷、總理官邸を襲擊した八木春雄の陳述に入る、東北饑饉救濟の不徹底、朝鮮同胞の差別待遇を激昂し、直接行動を取つた理由はこれまでの陳述の通り述べ、決行の前に靖國神社の神前に額づき祈願を籠め、一彈の下に犬養首相を斃した前後を詳細に説明滿廷慄然、此時の犬養首相の態度は悠揚迫らず立派だつたと賞讚し、決行の後は自分の覺悟であつたと陳述を終つた十時十八分小憩の後石關榮の陳述に入る、先づ事件の結果はどうなると思つたかとの問に對し、軍部の支持する强力な擧國一致内閣が出來我等の理想の幾分が實現すると思つた旨を述べ、零時四十分閉廷した、次回は一日午前八時開廷される筈である

## 傍聽人間に減刑運動を起す

（東京廿九日發國通）五・一五事件陸軍側公判は本日閉廷後傍聽人間に署名を求め減刑運動を開始するに決定、陸軍當局關係方面に運動する筈である

# 少年時代の—故武藤元帥

## 思ひ出のかずく（三）

### 泥棒をも感激せしめた 尊し！賢母の愛

いよく出發の日が來た、送る人も送られる人も涙が一ぱいで船が岸を離れてゆく、その時である「あの信義や、これ……」といつてお母さんは小さい紙包をわが子に手渡した、やがて船は靜かに饒出川の河口を離れたが少年はいつまでも岸に立つて見送る母君の姿をいつくまでもほんやりと眺めてゐた、しかしその姿も遂には見えなくなつし終つた、ふと吾れに歸つたものゝ如く、さつきお母さんから受取つた紙包を何心なく開いて見ると「あゝ、これは！」なんとその中には女の長い髮の毛が一尺ほど根もとからぶつつり切られて這入つてゐるではないか、そしてその紙包の内側には「私はいつまでもお前のそばにゐます、母」と書いてあつた

□　□

長崎で乘換へ幾日かの後に横濱に着いた少年はそこで初めて汽車といふものに乘つて憧れの東京に着いたのである、煉瓦を敷きつめた銀座の大通に風もないのに柳の葉がはらくとゆれて都大路もすつかり秋だつた、何もかもが田舍者の少年には珍らしいものばかりだ、と向ふから來た何者かゞどんと胸に突き當つた、ハツと少年は驚いて何心なく懷に手を當てると覺えず「あツ！」と叫んだ、懷の奥にしまつて置いたはずの財布は——彼の唯一の全財産がいつの間にか消えてゐたのだ、さすが沈着の少年もこの時ばかりは途方に暮れてしまつた

□　□

泣くに泣かれず唯だ獨りぽんやり橋の欄干にもたれて思ひに沈んでゐた、かいつの間にか日もとつぷり暮れて、闇の中に「おい兄さん」といつて誰か呼ぶ者がゐる、そこには商人風の若い男が立つてゐたそうして

「これはお前さんのだらう」

そういつて小さい風呂敷包を見せた、まがひもなくさつき自分の懷から姿を消した大切な風呂敷包だつた

「おゝ、それは！」

彼は思はず驅け寄つて見ると

「いや、すまねえ、實はさつきお前さんの懷から……」とその男の語るところはかうだ、盜んでは見たが中を改めて見ると女の髮の毛が包んである、そしてその包に書き添へた文句「私はいつもお前のそばにゐます、母」といふのを讀んですつかり感心して終つたそうしてわざくその品物を返しに來たものと判つた「ちや之れは返すぜ、俺の口からいふもをかしいがお母さんを大事にしろよ」と一人でぺちやくちやいふと夕闇の中に姿を消して終つた

□　□

信義少年は不思議に戻つて來たお金を掌に載せたまゝ思はず故郷の方を伏し拜んで

「お母さん、有難う、ほんとに僕のそばにゐて僕を護つてゐて下さつたんですね」

彼は行きかふ人には目もくれずほろくと熱い感謝の涙を流すのであつた、それからの少年は教導團から士官學校へ一心不亂熱心に勉強をつゞけた、この母にしてこの子、故元帥の今日あるは母君の偉い愛の賜に違ひないがまたその優しい孝心が酬ひられたものともいはれるであらう（終）

## 萬歳界總元締 砂川捨丸來る

### 優秀な一座四十余名

二三年前長春時代に一度長春座に來たことのある萬歳界の總帥砂川捨丸が大連に於ける滿洲大博覽會の演藝部に優秀な一座四十余名を率ひて乘込み博覽會開會と同時に開演例によつて爆笑洪笑をまき起させつゝあるが、新興滿洲國の首都新京を是非訪れたい念願で滿博興行を十日間で打切り一路新京に急ぎ二日夜から長春座で開演に決定したので本社は讀者慰安のため割引を行ふやう交渉中で追てこれを發表する、今度の一座は斯界の名ある連中を選りに選つた顔觸れだけに陳腐舊套を脫したユーモアに富んだところを見聞して貰ふことが出來ると興行主は大自慢である

## 一日から 北平、山海關間 直通運轉開始

（天津廿八日發國通）北寧線は現在北京唐山間のみの運行をなしつゝあるが、義勇軍處置問題の進展に伴ひ八月一日より北平、山海關間を運行すべく七月二十五日鐵道部より錢北寧鐵路局長宛電報があつた、目下鐵路局側では車輛其他積極準備中

## 花火工場爆發し 即死二名重輕傷二名

（東京二十九日發國通）二十九日午前九時靜岡市の花火製造業寺田方の花火工場が突然大音響と共に爆發し、作業中の店員二名及び寺田の姉等の三名は吹飛ばされ即死し外十四名の重輕傷者を出した

## 極東オリンピツク理事會で 選手權制度を變更す

（マニラ二十九日發國通）極東オリンピツク理事會は本日會合を催し次回マニラ大會の開催其他に就き協議の結果日本側からの要求を容れ大會期を明年六月九日より十七日迄と變更することに正式決定を行ひ且つ從來の綜合選手權制を改め各イヴエント毎に選手權を與へる制度を採用するに決した、但し中立國の審判員を採用して公平を期するの案は否決となつた

## 新京大敗 對大連商業 中等豫選

13A—0

（大連二九日發國通）全滿中等學校野球滿洲豫選新京商業對大連商業戰は午後一時五十分新京先攻で開始され十三Ａ對〇で大連大勝す閉戰四時十分

## デ杯チヤレンヂラウンド第一日

### 單試合で英國二點を先取

「巴里二十八日發國通」デ杯庭球チヤレンヂラウンド第一日シングルス試合は英國先づオースチンの勝利に一點を獲得、續くペリーがフランスのコーシエを粉碎、二點を先取して雌伏二十餘年の英國にデヴイスカツプ獲得の機會が近づいた、試合經過左の通り

オースチン（英）6—3、6—4、6—0 メルラン（佛）

ペリー（英）8—10、6—4、8—6、3—6、6—1 コーシエ（佛）







## ラジオ欄

三十一日（月）

| 放送 | 時刻 | 番組 |
| --- | --- | --- |
| 新京 奉天後 | 四、〇〇 | レコード 相場 |
| 新京後 | 四、三〇 | 商業通信社 演藝 |
| 同後 | 五、〇〇 | 講演 夏の衛生 新京特別市公署 衛政處長 董暢 |
| 同後 | 五、三〇 | 滿洲語 ニユース |
| 東京後 | 六、〇〇 | ニユース |
| 新京後 | 六、二〇 | （滿洲語）講師 宮脇逸 語學講座 東京中央放送局編輯 |
| | 六、四〇 | 語學講座 |
| 同後 | 七、〇〇 | （日本語）同 植松金枝 ニユース |
| 同 英語 | 七、一〇 | ニユース |
| 同後 | 七、二〇 | ニユース |
| 同後 朝鮮語 | 七、三〇 | ニユース |
| 露西亞語 | | 氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告 |
| 同後 | 八、〇〇 | 演藝 |
| 東京後 | 八、三〇 | 時事 |
| 同後 | 八、三一 | 東京中央放送局編輯 ニユース |



## 長春座映畫

長春座は三十一日と一日松竹映畫齋藤達雄八雲理惠子主演の昨日の女今日の女と上山草人飯塚敏子主演新版唐人お吉を上映する

## 幕末異聞　愛慾火箭

(百二十六)

(禁上演上映)

作　瀧川駿
畫　村瀬洗舟

### 不思議な手紙(五)

暗い行燈の灯影で、與四郎と早苗の旅裝は出來た。

『しからば御免で……』

道齋のうるんだ聲。

『色々と御迷惑を相掛け、何とも申し譯ござらぬ。拙者死んでも御恩は忘却仕らん』

『疾く〳〵』

道齋は怒るやうに言つた。

『では!』

と、元氣は好いが、その足許の頼りなさ。道齋は淋しさうに見送つてゐた。

『裏口に出て、左へ露路を廻つて、右へ拔けられると辻駕籠がござる。それに乘つて眞直に大川傳ひにお出であると、淺草御門へかゝらずに南千住へ拔けられ申すぞ』

道齋の親切の籠つた言葉だつた。與四郎は早苗に抱かれるやうにして裏口の方へ消えて行つた。

おもてでは騒々しい聲が響く。

『御用だ!』

『御用!』

『御用』

道齋は嚴しく戸を叩く音を聞きながら奥の佛間に這入つた。

軈て、佛間から苦しさうな呻き聲が聞えた。それは道齋が腹を切つたのであつた。

眞赤な血潮が、疊を彩つた。

かねて用意してあつたものか、側にあつた木綿晒を傷口にぐる〳〵巻きつけた。そして麻裃を身につけた。

床の間に供へてあつた、三寶を引き寄せると、ずつと起ち上つた。その拍子に、顏の色が颯と退いて死人同樣の土色に變つた。

頭の頂きから爪の先までも變色した。

つゝと二三歩、歩いてぐつと腰を押へた。今は足も自由でない。たゞ氣持だけで歩いてゐるのであつた。

『御用!』

『御用!』

玄關先でわれるやうな御用の聲が響いた。待ちかねた役人は戸を蹴破つて飛び込んで來た。

やう〳〵玄關まで歩み出した道齋の口から元氣の良い聲が洩れた。

『ふ、福は內、鬼は外!』

その聲に、役人は立ち止まつた。

道齋は、顫へる手で三寶の上の豆を摑ると撒いた。

ばら〳〵と破戸に當つた豆ははじき返して役人の頭上へ雨のやうに降つた。

『福は內、鬼は外!』

豆の數の減つて行くやうに、道齋の聲もだん〳〵弱つて來た。

『太田道齋神妙に致せ!』

だが、その聲は道齋の耳へ這入りさうにもない。

『福は內、鬼は外!』

それだけが機械のやうに、繰返されてゐた。もう聞き取れない程かぼそい聲になつてゐた。

その時は既に、道齋の身體は蜘蛛の巣にかゝつた胡蝶のやうに縄がかゝつてゐた。

『おや?』

役人連中の驚いたのも、無理ではなかつた。その時の道齋は冷たく冷へた一個の屍となつてゐたからである……。

『それ衞門を召捕れ』

役人達は、十手をひッさげて家の中を踊り廻つた。

だが、その時には既に、與四郎の姿は見えなかつた。

今まで與四郎の寢てゐた布團の枕許に、一通の手紙が落ちてゐた。

『うん……』

二三人の顏を集めて、行燈の灯の下で、その手紙を繰り展けて讀んだ。

それは差出人さへ不明な不思議な手紙であつた。

勝手元で一人の男の、聲がしたので、皆なが起ち上つた。

---

七月三十一日　舊六月九日　月曜　戊戌　友引　平　心宿

●一白の人　路傍の花も手折られ易し人目に立ぬが安全　辛さ亥と癸が吉

●二黒の人　考へ深きは手澤れありさも急がぬがよろし　甲さ子さ寅が吉

●三碧の人　剛慢は人に遠ざけらる溫順に萬事を處せ吉　未さ庚さ亥が吉

●四綠の人　人の世話事にて迷惑を蒙る日緣組懸合は凶　乙さ庚さ亥が吉

●五黃の人　窮地に入れごも狼狽せず愼重なれば難去る　壬さ癸さ丑が吉

●六白の人　人和はあれごも地の利を得ず十分の望なし　丁さ癸さ寅が吉

●七赤の人　活氣盛にして雖事も遂行するの勢ある吉日　丙さ丁さ寅が吉

●八白の人　物事變調を來さんとす定業を堅く守り安全　丁さ壬さ癸が吉

●九紫の人　運氣上乘にて計畫する所有利に展開すべし　甲さ庚さ戌が吉

---